

地域での活動

浴風会防災訓練

11月13日(水)、社会福祉法人浴風会で行われた防災訓練に、近隣町会の一員として参加しました(私が所属する町会は、浴風会と「応援協定」を締結しております)。当日は、手動の薪割り機(上写真)を実際に利用する等の活動を行いました。



あおぞら防災会議

11月23日(土)、都立高井戸公園で行われた「あおぞら防災会議」に今年度も参加しました。今回は、例年通りの「かまどベンチやマンホールトイレの組立て」や「防災ドローン見学」の他に、公園利用者が初期消火訓練を行えるよう工夫がされており、多くの子供達が水消火器を使った消火訓練を行いました。



上記の他、防災関連活動として、「防火防災協会高井戸地区連合支部役員会出席(10月22日(火))」、「小型消防ポンプの点検立会(11月8日(金))」、「震災救援所運営連絡会への参加(11月14日(木))」等も行いました。今後も、地域の一員として**防災活動**に携わり、そこで得た知見や気づきを区の防災施策に活かしていきたいと思えます。

子ども秋まつり

10月27日(日)、今年度も「高井戸・久我山子ども秋まつり」に小学校放課後子ども教室実行委員会として参加しました。当日は、3年生4人と5年生1人が「子どもスタッフ」として、モルック(\*6)の得点記入や景品(バルーンアート)づくり等を手伝ってくれました。(\*6)木製の棒を投げて番号の書かれた木製のピンを倒し、得点を競うゲーム。



当日の参加者数は、大人・子供を合わせてスタッフが256人、来場者が897人(計1,153人)とのことでした。「子どもスタッフ」として**子供達の自主性**を育み、地域のおまつりとして子供も大人も楽しめるこうした機会には、積極的に関わっていききたいと思います。

地域の文化祭

11月30日(土)、中学校で開催された「有志による地域の文化祭」に伺い、ダンス・歌・楽器演奏等を鑑賞しました。この活動は、地域教育連絡協議会(\*7)の子ども地域活動促進事業として実施されました。(\*7)家庭・地域・学校が密接に連携し地域教育の機能を高め、子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりを目指して、各中学校区単位に設置。



「地域の文化祭」は、当該中学校では今回が初めての試みであり、**中学生実行委員会が春から準備**・中学生だけでなく、地域の小学生やPTA、卒業生等も出演者として参加という特徴があります。地域の一人としてこうした活動を応援し、区の教育・子育て施策にも活かしていきたいと思えます。

次回の定例区議会(令和7年第1回定例会)は、2月12日(水)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。  
E-Mail: ikuma@gakushikai.jp もしくは FAX: 03-3247-8660

杉並区議会議員(無所属)  
岩田いくま 区政報告

第85号(令和7年新年号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103  
TEL/FAX; 03-3247-8660 E-Mail; ikuma@gakushikai.jp  
HP; http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)



岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和5年5月より6期目。  
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。  
家族: 妻、長男(21歳)、長女(19歳)、次男(17歳)。



- P.1 区役所本庁舎改築等課題検討報告書について
- P.2 区民生活委員会での活動について
- P.3 調査活動について
- P.4 地域での活動について

本庁舎改築に向けた第一歩

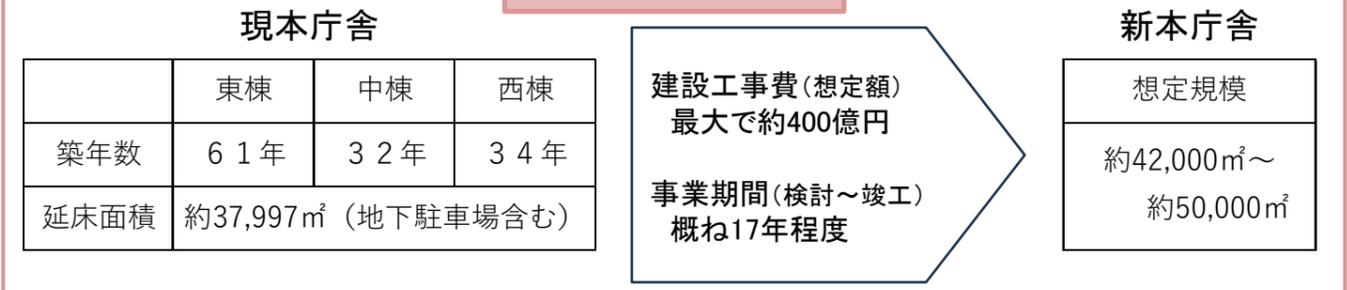
～ 杉並区役所本庁舎改築等課題検討報告書 ～

12月2日(月)の総務財政委員会において、「本庁舎の改築等に向けた検討状況について」が報告され、その中で、「杉並区役所本庁舎改築等課題検討報告書」が示されました。以下、その一部を紹介します。



\* 報告書全文は、右記QRコードから読むことができます。

全体イメージ



試算例

	庁舎規模	事業費 (建設工事費+仮設庁舎費)
【想定Ⅰ】	東棟を改築し、中棟・西棟を改修(長寿命化改修)する場合	43,400㎡ 342億円
【想定Ⅱ】	全面改築する場合	50,000㎡ 492億円



区役所本庁舎東棟は、既に築61年が経過しており、いつまでも改築を先延ばしすることはできません。まずは、改築に向けての課題等検討すべき事項の洗い出しや、一定の条件下での事業費の目安が示され、第一歩を踏み出したことは、評価したいと思います。また、区政経営改革推進基本方針の修正案においては、(仮称)本庁舎改築基金に毎年度20億円を積み立てることも示されました。この点も評価したいと思います。

【報告聴取】

11月26日(火)、私も所属する区民生活委員会が開かれ、下記4件が報告されました。

- (1) 令和6年度 定額減税補足給付金(調整給付)の給付状況について
  - (2) 「すぎなみフェスタ2024」の開催結果について
  - (3) ふるさと納税制度の返礼品に関する今後の取組について
  - (4) 杉並区多文化共生基本方針(案)の策定について
- 以下、質疑の一部を抜粋します。



区民生活委員会で示された報告資料は、上記QRコードから読むことができます。

【岩田の意図】

杉並区多文化共生基本方針(案)における、内容/表現の不一致を正すこと。

【岩田の質疑】

“互いを尊重し合える意識の啓発・醸成”等「4つの重点項目」の説明内容がページにより異なるが、理由は。

【区の答弁】

後段のページの内容は、概要版の作成を念頭において表記をわかりやすいように変更する意図であったが、かえってわかりにくいので、**そろえるように調整**する。

【岩田の意図】

より適切な民間委託の方式を活用すること。

【岩田の質疑】

魅力的な返礼品を開発することに加え、寄附の受入れから返礼品の発注・配送管理等までの一連の業務を効率的に行うため、これらの業務を事業者へ委託することだが、いわゆる「**成果連動型**」(\*)を想定していると考えてよいか。

(\*)1)成果指標を設定し、支払額を当該成果指標の改善状況に連動させる契約方式。

【区の答弁】

その通りである。



質疑の中では、「ふるさと納税制度の返礼品に関する今後の取組」や「杉並区多文化共生基本方針(案)の策定」が、「杉並区実行計画」(\*)にどう影響するかの確認等も行いました。今後も、「区政のチェック機能」であることをしっかり意識しながら対応していきたいと思います。  
(\*)2)区政全般に関し、財政上の裏付けを有する区の中長期計画(3年計画)。

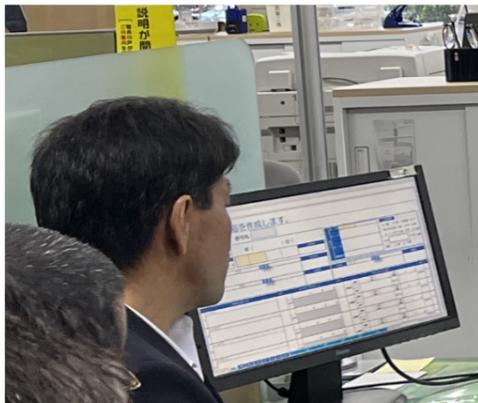
【他自治体視察】

10月24日(木)、区民生活委員会として千葉県船橋市に伺い、

- (1) おくやみコーナー(\*) (2) 書かない窓口(\*\*)
- について視察を行いました。

(\*)3)身近な方が亡くなった際に、区役所/市役所での手続きを総合的に案内する窓口。

(\*)4)職員が窓口業務支援システムを使って来庁者と一緒に必要事項を確認することにより、名前を署名するだけで手続きが完了する仕組み。



杉並区では、「おくやみコーナー」については令和6年9月に開設されたばかりであり、「書かない窓口」については令和8年度に導入を予定しております。

「おくやみコーナー」については、広範囲の事務処理について制度説明と書類審査スキルを持った職員の育成が課題である旨、説明をいただきました。「書かない窓口」については、来庁者の総滞在時間が縮小する等満足度が向上している一方、窓口で聞き取りを行うため、窓口での対応時間は増加していることが課題として示されました。

船橋市で得た示唆を、杉並区の窓口業務をより良いものとしていくために、活かしていきたいと思います。

商店街活性化サミット

10月30日(水)、18時から区役所で開催された「**すぎなみ商店街活性化サミット**」を聴講しました。

当日は、杉並区産業振興センター次長による司会のもと、7商店街代表者がパネリストとして参加し、質問に対してO×での回答や対談を行う形式で進行了ました。



「商店街の中に大型店はいらぬ」という質問に対しては、×が5名、△が2名でした。

×の方々からは、「共存」「集客」「(駐車場等の)スペース活用」といったキーワードが語られました。

また、「今後、商店会に最も必要なものは何か」という質問には、「世代交代」「まちづくり会社」等、各商店街代表者の想いも伺うことができました。

私自身、地域の商店街が主導するイベントにスタッフとして参加させていただく機会がありますが、「地域のための商店街」と「加盟店のための商店街」という双方の視点を忘れずに、区政において必要な施策を考えていきたいと思います。



荻外荘

11月12日(火)、**荻外荘完成内覧会**に参加しました。

当日は、生涯学習推進課長他から説明を受けながら、約2時間かけて各部屋を見て回りました。また、12月8日(日)に行われた荻外荘公園開園式にも参加しました。



近衛文麿旧宅である荻外荘は、国指定史跡となっており、近衛文麿居住当時への復原(\*)に当たっては、近衛が重要な会談を行った昭和15~16年頃を基本としながらも、昭和20年の近衛自決時の面影が残る書斎についてはそのままの姿とする等、様々な工夫がなされています。過去の歴史から学ぶ場として、多くの方に訪れていただく場になれば、と思っております。

(\*)5)現存している建造物を過去の姿に戻すこと。



ハラスメント講演会

12月5日(木)、杉並区議会内議員有志で開催された講演会「**議会及び行政におけるハラスメントとは**」に参加しました(講師:廣瀬和彦元全国市議会議長会法制参事)。



当日は、休憩を挟みながら3時間かけてお話を伺いました。

講演内容は、

- ①ハラスメントの主な類型
  - ②地方議会におけるパワハラ・セクハラの実態
  - ③議員同士のハラスメント
  - ④議員と職員との間のハラスメント
  - ⑤パワハラ・セクハラ要件と判断基準
  - ⑥相談員の設置と議長の役割
  - ⑦効果的なハラスメントの予防と適切な対処手法
  - ⑧質疑応答
- と、多岐にわたりました。



各種ハラスメントは、「行っている側」にはその自覚がないことがほとんどだと思います。

自身の活動において、これまでも気を付けてまいりましたが、改めて、同僚議員や区職員等への対応に留意していきたいと思います。